

# ユネスコスクール本年度の活動内容 報告書

綾町立綾中学校

## ○活動分野

環境、持続可能な生産と消費、エコパーク

昨年度に引き続き、本校では「持続可能な開発目標（SDGs）」を意識した教育活動を推進し、生徒たちがより明確な意識をもって取り組めるよう、中学校3年間を見通した系統的な学習体系の構築を目指しました。本校の教育目標である「ふるさとに誇りをもち、心豊かでたくましく、自立心あふれる生徒の育成」を実現するため、ESDを教育の中核に位置付け、総合的な学習の時間を中心に、生徒たちが自ら課題を発見し、解決策を考案できるよう、様々な学習活動を実施しました。特に、情報の収集・分析力、思考力・判断力・表現力、課題解決力の育成に力を入れてきました。

## ○「自然への探究」～1学年の活動～

1学年では、綾町の豊かな自然環境をフィールドに、ESD（持続可能な開発のための教育）の基礎を築きました。生態系調査では、照葉樹林の多様な生物種や、ビオトープの役割を学び、自然環境の重要性を深く理解しました。特に、イオン財団のご協力のもと実施した、人工衛星データと地上調査を組み合わせた樹木調査は、生徒たちに最先端の科学調査を体験させるとともに、地域全体の環境変化を把握する重要性を認識させました。これらの活動を通して、生徒たちは単に自然を観察するだけでなく、得られたデータを分析し、地域の環境問題を科学的に考察する力を養いました。



## ○「人への探究」～2学年の活動～

2学年では、古都・京都と自然豊かな綾町を対比し、それぞれの地域が抱える課題や強みについて深く考察する学習を行いました。修学旅行では、歴史的建造物や伝統文化に触れ、京都が取り組む持続可能な都市開発について学ぶことができました。また、1年次に引き続き、九州森林管理局や宮崎森林管理署、エコパークセンターの協力のもと、ドングリの育苗活動にも取り組みました。生徒たちは、ドングリから苗木を育てる体験を通して、森林生態系の大切さや地域の自然環境を守ることの意義を実感していました。



## ○「未来への探究」～3学年の活動～

3学年では、職場体験学習「綾人体験」を通して、地域社会の一員としての役割を自覚する貴重な機会を得ました。多様な職場で働く方々と関わる中で、生徒たちは職業観を広げるとともに、地域産業の現状や課題を肌で感じることができました。職場体験で学んだことをプレゼンテーションで作成しました。その成果を、職場体験でお世話になった事業所の方々や保護者の皆様に向けて発表する機会も設けました。また、1年次から継続して取り組んできた、九州森林管理局、宮崎森林管理署、綾町役場との協働によるドングリ育苗活動では、大切に育てた苗木を綾町の森へ植樹する活動を行いました。生徒たちは、自分たちの手で地域の森づくりに参加することで、自然環境保全の重要性をより深く理解することができました。



## ○全学年の活動

今年度、綾中学校では生徒会スローガン「Adapt」に基づき、「綾マラソンをどのように活かせば綾の魅力を発信し、関わる人を増やせるか」をテーマに探究的な学習を進めました。生徒総会に向けて4回の学級討議を行い、地域の方を招いて意見を聞くなど、綾町の現状や課題について理解を深めました。学級で出た意見を全校で討議した結果、「農家の方々から提供いただいた野菜や果物を綾マラソンで振る舞う」という提案が採択されました。生徒会が協力を依頼したところ快く応じていただき、提供された野菜・果物は加工のうえ給水スポットで提供しました。また、協力いただいた農家の紹介チラシを作成し、会場に掲示しました。綾マラソン当日は、生徒はランナー・給水スタッフ・応援の3つの役割で参加し、事前準備を経て大会運営に貢献しました。さらに、3年生は綾のおすすめスポットを英語で紹介したポストカードを作成し、来場者に配付しました。これらの活動を通して、生徒たちは地域社会と主体的に関わり、綾町の魅力発信に寄与する力を育むことができました。

